

吉岐チーム健闘、8強入り 31チームが出場して熱戦

全日本少年サッカー佐世保市予選



頑張った吉岐チーム

佐世保市サッカー協会主催の第36回全日本少年サッカー大会佐世保市予選が4月28日から3日間、北部ふれあいスポーツ広場など3会場で開催され、吉岐を始め各地から31チームが出場して熱戦が展開された。

本市からは吉岐少年サッカークラブ(山田武範監督)のキャプテン・目良航也くん(12)ら14人が参加。ゲームは8人制で行われ、予選リーグD組をトップで通過し、決勝

リーグに駒を進めた。決勝リーグでは、佐世保の「アプレンティス」に2けた得点を挙げ大差で勝った。ものの、優勝した「楠栖」(佐世保)に惜しくも敗れたが、大いに健闘しベスト8に入った。

講師にサイクリスト日隈選手
一支国博物館ワークショップ

日隈選手は現在、アメリカのプロチーム「ワンダフル・ピスタチオス」のプロフェッショナル・サイクリング・チーム」に所属しており、2006年・カメルーン大会で個人総合8位(アフリカ大会ツアー日本人初の快挙)に入るなど、フランスや台湾と海外でも活躍、吉岐サイクルフェスタでも50歳で2006年・優勝、2009年・準優勝の記録を残している。

俳句 島を詠む 5月③
猿岩の頬濡らしたる卯浪かな 目良 奈々月

吉岐島レトロ館

吉岐島の昔懐かしい写真の中から、移りゆく島の姿を懐かしみながら古き良き時代に思いを馳せてみましょう。当コーナーではそんな吉岐の姿をシリーズで紹介していきます。

今回ご紹介するのは、私達の足として活躍している九州郵船が運行していた船です。

写真にある船は、昭和55年7月から博多・吉岐航路に就航した単胴型高速船「シーエース」です。耐航性などの問題から、冬季は時折運休していたのは今では懐かしいエピソード。平成2年にその運航を終了しました。おそらく40代から上の方々には馴染み深く、記憶にも残っている船ではないでしょうか。それまでのフェリーが大型ではあっても速度は通常フェリーのままであったのに対し、博多・吉岐間で初となった高速船に、福岡までの距離がグッと縮まった感じがしたのを思い出します。

このシーエースの存在が、現在就航しているジェットフォイル「ヴィーナス」へと流れていきます。

吉岐で撮影された昔の風景、懐かしあの場所などの写真をお持ちの方は編集部までお送り下さい。この紙面の中でご紹介いたします。また、お送り頂いた写真についてのご説明やコメントもお待ちしております。

お送り先は 〒811-5136 吉岐市郷ノ浦町片原 247-7
吉岐新報社 E-mail: ikishinpou@boe.ocn.ne.jp

男子・石田、女子・芦辺がV
市中学生春季・バレーボール大会

市中学生連の球技・剣道大会(19、20日)を前に、本年度・市中学生春季大会バレーボール大会がこのほど開かれた。

大谷コートで26、27日の開催
第47回吉岐オープンテニス

おおくやみ
郷ノ浦町
内山富美恵さん(44)有安
安触田原妙子さん(95)長峰本村触

社説

災害シーズンに備えよう

吹く風にらしからぬ冷たさを感じ、夏も数日あったが、今月1日には「立春」(2月4日)から数えて88日に当たり播種の適期とされ、夏も近づいてくる。夏も近づく。茶摘みの最盛期と言われる「八十八夜」が過ぎた。

季節が春から夏へと移り変わる頃という「立夏」も「このもの日」の5日に過ぎ、吉岐の島の5浦を巡って開かれ、春から初夏にかけての伝統の風物詩・春の市も13日の郷ノ浦八日市でフィナーレを迎えた。21日には草木が青々と繁り大地に生気が満ちてくる頃とされる「小満」で、先日来島した修学旅行生らが吉岐の美しい海を体験した筒城浜海水浴場の海、空の色合いはすっかり夏色に輝いているように見えた。

福岡管区気象台が発表した5、7月の3か月予報をみると、今月は平年と同様に晴れの日が多く、6月は曇りや雨の日が多く、気温は平年並みや高い確率が40%、7月は前半はぐずつく日が多く、後半は晴れの日が多いとする予想で、梅雨入りは、平年は6月5日頃となっており、1か月を切った。その梅雨入りから長雨や豪雨による災害が心配される時期となる。

人口世帯数(平成24年4月末現在)	人口			世帯数
	男	女	計	
郷ノ浦	5,256	5,677	10,933	4,451
勝本町	2,863	3,247	6,110	2,464
芦辺町	3,776	4,174	7,950	3,152
石田町	2,193	2,352	4,545	1,602
合計	14,088	15,450	29,538	11,669

月	日	曜	旧暦	満潮	干潮	満潮	干潮	日出	日入	
5	18	金	3.28	中	7:35	1:22	20:15	13:49	5:18	19:19
	19	土	29	中	8:06	1:59	20:52	14:24	5:17	19:20
	20	日	30	大	8:36	2:32	21:27	14:59	5:16	19:21
	21	月	4.1	大	9:05	3:04	22:00	15:33	5:16	19:21
	22	火	2	大	9:34	3:35	22:34	16:06	5:15	19:22
	23	水	3	大	10:04	4:06	23:08	16:40	5:15	19:23
	24	木	4	中	10:35	4:38	23:43	17:14	5:14	19:23
	25	金	5	中	11:10	5:12	*	17:50	5:14	19:24

吉岐島レトロ館

吉岐島の昔懐かしい写真の中から、移りゆく島の姿を懐かしみながら古き良き時代に思いを馳せてみましょう。当コーナーではそんな吉岐の姿をシリーズで紹介していきます。

今回ご紹介するのは、私達の足として活躍している九州郵船が運行していた船です。

写真にある船は、昭和55年7月から博多・吉岐航路に就航した単胴型高速船「シーエース」です。耐航性などの問題から、冬季は時折運休していたのは今では懐かしいエピソード。平成2年にその運航を終了しました。おそらく40代から上の方々には馴染み深く、記憶にも残っている船ではないでしょうか。それまでのフェリーが大型ではあっても速度は通常フェリーのままであったのに対し、博多・吉岐間で初となった高速船に、福岡までの距離がグッと縮まった感じがしたのを思い出します。

このシーエースの存在が、現在就航しているジェットフォイル「ヴィーナス」へと流れていきます。

吉岐で撮影された昔の風景、懐かしあの場所などの写真をお持ちの方は編集部までお送り下さい。この紙面の中でご紹介いたします。また、お送り頂いた写真についてのご説明やコメントもお待ちしております。

お送り先は 〒811-5136 吉岐市郷ノ浦町片原 247-7
吉岐新報社 E-mail: ikishinpou@boe.ocn.ne.jp